

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	第2大島恵の園	受審(実施)年度 (※)	平成 28 年度	施設番号	41-0018
-----	---------	-----------------	----------	------	---------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (平成 28 年度)	改善計画 (平成 28 年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成 29 年 4 月 30 日時点)
日中活動の活発化が望まれる	施設での日中活動は、障害の程度、支援・介護の必要性、本人の希望により、利用者を 5 つのグループに分けて、それぞれのグループに用意された作業を行うこととしている。しかし、家族調査のコメントを見ると「作業は休みが多く、一日中部屋にいることが多い」「日中活動は何をしているのか分からない」など、多数の日中活動への不安が寄せられている。日中活動の計画通りの実施と活性化を図り、利用者のサービス向上を図るとともに家族の不安の解消に努められたい。	1. 平成 28 年度中からグループごとの「ミーティング活動」を午前中に定例化した。午後についても随時開始予定。比較的能力が高いグループでは、以前の「塩作り」の活動内容と強度を復活させている。他の活動についても利用者の意向を取り入れながら活動再開見込みである。	1 実施済み 2 実施予定(平成 年 月 ごろ)
施設への不法侵入対策について	「神奈川の事件」に見られるような施設内に不法に侵入して利用者を傷つけるようなことはあってはならないことである。大島町での平穏な生活の中で、不法な侵入へのイメージはなかなか浮かんでこないとされている。しかし、想定外の事件が多発する現在、まさかの事件が起こることも考えておかねばならない。現在の施設の不法侵入対策は、門に施錠がなく防犯カメラも不十分である。不法侵入対策を検討し、改善策をまとめて実施されたい。	1. 正門付近では顔認証システムを取り入れた防犯カメラを設置予定。園内(施設内)についてもパブリックエリアを中心に安全カメラを設置予定である。	1 実施済み 2 実施予定(通年)
施設のマニュアルをより簡潔にすばやく使えるようにさせたい	施設のマニュアルは多岐にわたり整備されており経験豊かな職員やゆっくり読んで学べば実際の支援に役立つものである。しかし、離島にある施設では同一法人の系列施設からの異動がある上に新人職員も毎年配備されている職員の出入りが多いためマニュアルをこなさきれないきらいがある。マニュアルが多くあることで支援が十分と安心できない。今後、マニュアルの無駄を見直そうとすることに加えて、今あるマニュアルを簡潔にまとめて早分かりを作成して、すばやく実際の支援に使えるようにされたい。	1. マニュアルのブラッシュアップを少なくとも年 1 回以上の頻度で行う。その際、簡略化できるものは視覚的に判断しやすいものにできるよう工夫を加える。	1 実施済み 2 実施予定(通年)

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。